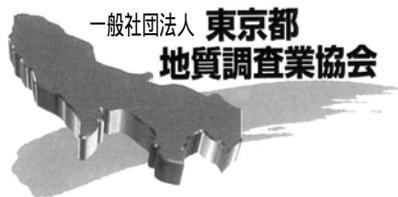


# 東地協ニュース 2013.6 第24号



## 国民の共有財産としての地質地盤情報

関東地質調査業協会 顧問 (前理事長) 内藤 正

今年1月、日本学術会議地球惑星科学委員会は、「地質地盤情報の共有化に向けて - 安全・安心な社会構築のための地質地盤情報に関する法整備 - 」と題する提言を行ないました。

提言では、これまで蓄積されてきた大量の地質地盤情報を「国民共有の財産」と認識

- ・産・学・官の各団体は、取得した地質地盤情報を其々が責任をもって分散型管理する。
- ・官は、明確な施策と責任ある体制のもと、フォーマット統一等を行い、分散管理された情報を、利用者が安心かつ信頼して利用できる統合システムを構築すべきである。

これにより、

- ・地震防災、地下水資源の有効活用や土壤汚染などの社会的課題への適切な対応
- ・地質地盤情報を利用した新しいビジネスの創出、その利用価値の更なる拡大
- ・地質地盤情報の重要性への国民の理解と興味が増進、社会インフラ事業の合意形成円滑化

が期待できるとし、「地質地盤情報共有化の促進と、安全・安心な社会構築のための地質地盤情報に関する法整備を早急に進めるべきである」と結んでいます。

このように地質地盤情報は、災害に強いまちづくりや国土計画などに必須の国民の共有財産として価値があり、来たるべき首都圏直下地震や南海トラフの巨大地震等の災害に備え、安全・安心で強靱な社会の構築に貢献するものであります。

今後、地質地盤情報の共有化により、まさに我々の得意としてきた分野が改めて脚光を浴びることとなります。業界としても認知拡大は大変喜ばしいことではありますが、従前のクローズされた一部関係者のデータから、国民共有の財産へと価値が増すことの重要性をしっかりと認識し、これらを直接取り扱うものとして、個々の会員が技術研鑽を重ね、正確なデータを世に提供していかなければなりません。

東日本大震災の復興に向けた本格的な予算が組まれ、復興関連業務の需要がしばらくは期待されるものの、一方では、被災地以外での国、自治体の公共事業については、引き続き事業予算の縮減や事業の見直しの影響を受け、受注競争が一段と激しさを増すなど、市場環境は依然として厳しい状況にあります。しかしながら、今が変化する好機と捉え、業界全体で切磋琢磨し、「国民の安全安心と豊かな暮らしを守る」地質コンサルタントとして更なる飛躍をしていこうではありませんか。

## 会議報告等

### 理事会

#### 1. H24年度 第7回

日時：平成 25 年 2 月 20 日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成 24 年度事業収支（見込）について
- (3) 平成 25 年度事業計画と収支予算について
- (4) 東京都・災害協定について
- (5) 東京都（港湾局）建築物液化対策検討委員会
- (6) 平成 24 年度防災展（東京都主催）報告  
日時：平成 25 年 1 月 12 日～14 日  
場所：新宿駅西口広場イベントコーナー
- (7) 総務省「地盤の利活用に関する説明会」
- (8) 技術委員会関係
  - 1) 技術ノート 43 P17「記載記事一部修正」
- (9) 第 6 回理事会（関東協会）報告
- (10) 第 3 回理事会（全地連）報告
- (11) 収支報告（平成 24 年 12 月，平成 25 年 1 月）
- (12) 東京政経フォーラム
- (13) 都内中小企業における事業実態等アンケート
- (14) 受注動向調査表（国土交通省 関東地質調査業協会）

#### 2. H25 年度 第 1 回

日時：平成 25 年 4 月 17 日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成 24 年度事業収支決算報告について
- (3) 第 29 回通常総会の進行について
- (4) 会員（賛助会員）の退会  
テクノインターナショナル(株)  
正会員：23 社 賛助会員：8 社
- (5) 総務委員会関係
  - 1) 「東地協ニュース 24 号」検討
- (6) 広報委員会関係
  - 1) 第 1 回広報委員会（5 月 7 日）

- 2) 防災協定の状況確認（東京都）
- (7) 技術委員会関係
  - 1) 委員の交代について
  - 2) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会  
（4 月 13 日～14 日） 東邦地下工機(株) 内
  - 3) 第 1 回委員会報告（4 月 10 日）

#### [ノート部会]

技術ノート 46

テーマ案：港区

#### [講演部会]

東京都防災訓練（あきる野市）（11 月 23 日）

東京臨海広域防災公園（そなエリア）への出展  
地質見学会・構造物見学会の検討

#### [環境部会]

初級者向けの土壌・地下水環境調査講習会

- (8) 平成 25 年度東京都予算要望に対する回答
- (9) 桑原文夫教授（理事）退職記念講演会
- (10) 大塚たかあき・応援する会（協会顧問）
- (11) 地質の日記念「徒歩見学会」後援承諾について

#### 3. H25 年度 第 2 回

日時：平成 25 年 5 月 22 日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第 29 回通常総会、進行、確認
- (3) 相談窓口依頼先について  
東京都都市整備局・市街地建築部建築指導課  
大田区まちづくり推進部  
紹介方法：区のホームページ
- (4) 総務委員会関係
  - 1) 「東地協ニュース 24 号」について
- (5) 広報委員会関係
  - 1) 広報 P R 活動（11 月以降実施）
  - 2) 協会パンフレットの作成
  - 3) 東京都都市づくり公社・講演会（6 月～7 月実施）
- (6) 技術委員会関係
  - 1) 東京都防災訓練・あきる野市（11 月 23 日）

- 2) 地質見学会 (10月開催予定)
- 3) 構造物見学会 (7月中旬募集)
- 4) 土壌講習会 (6月28日) 多摩平の森ふれあい館 募集 20~25名
- 5) (土壌・地下水環境調査技術講習会) 参加募集について
- (7) 環境計画講習会 地下空間利用開発  
「東京の地下開発の歴史」
- (8) 防災展 (協会旗、粗品) について
- (9) 収支報告 (平成25年度4月)
- (10) 「大塚たかあき」君を力強く応援する会
- (11) 都議選・自由民主党「23区総決起大会」
- (12) 顧問の鈴木隆道氏 (自民党) への決起大会

## 「ご報告」

東京都との「災害時等における応急対策業務に関する協定」締結が6月25日(火)となりました。



## 桑原文夫教授退職記念講演会の感想

日時：平成25年5月21日(火)

場所：KFCホール(第一ホテル両国)

この講演会はこれまで建築基礎構造に関する研究・開発を牽引され、日本工業大学に多大な功績を残された桑原先生が定年退職される記念として行われたものです。

150名を超える参加者の中「杭の載荷試験のブレークスルー」という演題で、杭の載荷試験の変遷についてわかりやすくお話していただきました。

50年前に載荷試験を実施した杭の掘削調査のお話では、地中に埋められたタイムカプセルを今まさに掘り起こすかのような先生の笑顔が非常に印象的でした。

現在、桑原氏は、日本工業大学を定年退職(H25年3月)され、パイルフォーラム(株)取締役 副社長として、建築基礎構造物の研究・普及されています。

東京協会 理事



((株)地盤試験所 亀井 秀一氏 記)

## トピックス(協会行事紹介)

地盤環境講習会「地盤環境に係る調査技術等講習会」

日時：平成24年11月9日(金)

会場：東邦地下工機(株)東京事業所 内

東日本大震災以降、放射線量の実態把握あるいは原子力に替わる再生可能エネルギーの開発を契機として、社会から求められる地質調査技術者は、地盤環境調査技術に関する新たな知見の集積、技術力の向上および信頼性の確保が重要であることから、11月9日(金)に東邦地下工機株式会社 東京事業所(品川区)において、『地盤環境に係る調査技術等講習会』を開催しました。

本講習会は、3つの講演と実地講習を行いました。

講演1：地中熱利用技術

講演2：福島第一原子力発電所事故後の空間線量率モニタリングと東京都23区東部のマッピング

実地講習：測定機器を用いた放射線量測定実習

講演3：環境省土壤汚染対策法ガイドラインの一部改訂について

講演1は、地中熱利用促進協会の笹田政克氏を講師に迎え、地中熱と地熱の違い、再生可能なエネルギーとして優位点、利用方法、地中熱測定・解析技術の現状、地中熱ヒートポンプ技術、施工事例及び地中熱利用技術の課題がわかりやすい図表を使って説明され、新たな地盤環境業務の展開の可能性を感じさせてくれました。

講演2及び実地講習では、川崎地質(株)の鈴木敬一氏を講師に迎え、自ら測定した福島第一原子力発電所事故前と事故後の空間線量率の変化について、他の放射線事故のモニタリング結果と併せて検討結果の報告がありました。また今後の空中放射線量率の予測結果や国内及び世界の自然放射線量の分布などの説明があり、放射能に対する過大な不安を軽減するためには、生活範囲内の比較的狭い範囲での線量率測定を行い、線量率の変化を把握し、正確な年間被ばく量を見積もることが必要であるという考えが述べられました。実地講習では、参加者

が国内外の簡易線量計で実際に測定を行い、また放射線核種ごとの線量率が測定できるガンマ線スペクトロメータの説明を受け測定を行いました。

講演3は、8月末に公表された土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン(改訂第2版)について改訂内容を主に図表を使って座学講習を行いました。このガイドラインはほぼ毎年改訂され、より複雑になっています。今後における皆様の地盤環境調査業務のお役に立てるよう、これからも情報発信していきたいと思えます。

本講習会に参加して頂いた皆様(計14名)は、実務経験年数5年未満の方がほとんどでアンケートでは講習が参考になったと答えていただいた方が多く全体的に好評でした。

最後に、業務ご多忙の中、講習会の開催に多大なるご協力・ご支援頂きました東邦地下工機株式会社の皆様に厚く御礼を申し上げます。

なお、本講習会では、参加して頂いた皆様にCPD認証3.0ポイントを付与しました。



(技術委員 打木 弘一)

## 平成 25 年度ボーリングマシン安全衛生特別教育 講習会(4月13日～14日)

この講習会は当協会の地質踏査技術の向上に関する事業の一環として実施しており、昨年は年2回行い定員を上回る参加がある。今年も2回実施を予定しており、今回はこの1回目として平成25年4月13日(土)、14日(日)の2日間、東京都品川区(東邦地下工機株式会社)にて実施した。

講師は昨年と同様に当協会、片山浩明理事ほか東邦地下工機殿の職員の方2名によって行われた。参加者は会員8名、非会員19名であり、非会員からの参加が毎回比較的多く、ニーズの高さを物語っている。

講義内容は、1日目に学科講習、2日目は実技講習に分かれており、学科講義はボーリングマシンに関する知識(基礎知識・構造、運転及び点検・整備)、マシンの運転に必要な一般事項に関する知識(施工・力学と電気)および関係法令・災害事例等である。災害事例の説明では、参加者は普段行っている作業中の危険性を再認識するように真剣な眼差しで講義に聴き入っていた。

実技講習では実際のボーリングマシンを使い実際にロッドの上げ下ろしやマシン操作時の潜んだ危険性等について実践的な講義が行われた。

実技講習終了後、2日間受講した全員に修了書の授与が行われ、講習は無事終了した。現場作業での安全・安心を確保するために多くの知識を獲得できる場として、今後も継続して開催していきたいと考えている。



### 学科講習



### 実技講習



(技術副委員長 太田 智之)

## 講演会雑感

講演会「原位置サウンディング試験を利用した液状化による地盤変状の評価」

日時：H25.5.22(主催：一般社団法人東京都地質調査業協会)  
 会場：測量地質健保会館 7階 大会議室  
 演題：原位置サウンディング試験を利用した液状化による地盤変状の評価  
 講師：東京理科大学 理工学部土木工学科  
 塚本 良通 教授 (協会理事)

当協会理事の塚本先生より「第29回通常総会」後にご講演をいただきました。

先生は、地震動を受ける飽和砂および不飽和砂の挙動と液状化・流動現象にかかわる工学的諸問題の解明、これに対するさまざまな対策工法並びに地盤材料の評価等の研究をされています。この中で特徴的なのはサイトでの調査手法に「スウェーデン式サウンディング試験」を取り上げられておられるとのことでした。

今回は、数か所のサイトで得られたサウンディング結果を用い、液状化により発生する「流動破壊」「沈下」「側方流動」の評価について講演をいただきました。具体的には、求められる $W_{sw}$ (静的貫入)並びに $N_{sw}$ (回転貫入)に対し、相対密度に着目することより相関性を見出し、間隙比幅( $e_{max}$   $e_{min}$ ) 細粒分含有量を考慮することより非排水せん断強度を求めようとするものです。また、これを用いて液状化抵抗率、沈下挙動の推定・評価の事例が示されました。日頃身近な調査方法として体験している私にとって、新たな可能性を見つけた思いでした。

原位置試験は多種におよび、対象土質・目的・環境条件等より適材適所でなければなりません。ご承知のようにスウェーデン式サウンディング試験は、装置及び操作が容易で他の調査法に比べ費用が安く済むなどの利点を有しており、小規模構造物(特に戸建住宅)の支持力特性を把握する調査方法として広く利用されています。また連続的に貫入できることで、緩い部分の検出にたけているとお話を今

塚本先生より伺いました。

震災復興は加速せねばなりません。コストミニマムで成果のある対策工が必要とされる今、本試験による評価法がいち早く確立され展開されることを願います。

(副会長 網代 稔)

## 講演会風景

講師：東京理科大学 塚本 良通教授



## 賛助会員 PR コーナー

< 第 4 回 > 株式会社 田中土質基礎研究所

『室内土質試験』一筋に皆様をバックアップします



室内土質試験所として経験豊富、安心サポート、迅速な試料引取りを実現！  
各種、物理・力学・安定化の室内土質試験のことなら当社にお任せ下さい！



株式会社田中土質基礎研究所

〒182-0024 東京都調布市布田 3 - 2 5 - 5

TEL:042-490-8260 (代) FAX:042-490-8261

E-mail : juchu@tanaka-slabo.co.jp

URL : <http://www.tanaka-slabo.co.jp/>

日程	行事名・内容等
6月11日(火)	(関東)地質調査技士試験事前講習会
6月17日(月)	(東京)東地協ニュース
6月25日(金)	(東京)土壌・地下水環境調査技術講習会 会場:多摩平交流センター 内容:講習,湧水地巡検・実地 等
7月13日(土)	(全地連)地質調査技士資格検定試験
7月中旬	(東京)構造物見学会
7月31日(水)	(関東)災害復旧事業技術講習会
8月31日(土)	(東京)東京臨海公園防災展
9月1日(日)	
9月19日(木)	(全地連・関東)技術フォーラム長野
9月20日(金)	
10月	(東京)地質見学会
10月25日(金)	(全地連)50周年記念祝賀会
11月20日(水)	(関東)地質調査技士登録更新講習会
11月22日(金)	(全地連)第4回地質リスク発表会
11月中旬	(東京)東地協ニュース発行 25
	(東京)H25 第2回ボーリング安全講習会
11月23日(土)	東京都防災訓練 東京都防災訓練あきる野市
1月8日(水)	(関東・全地連)新年賀詞交歓会

## 会員(正会員・賛助会員)動静

### (1) 会員の退会

テクノインターナショナル株式会社  
(平成25年3月末付け)

住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、  
お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。  
(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

## 行事日程

- (東京) 一般社団法人東京都地質調査業協会  
(関東) 関東地質調査業協会  
(全地連) 一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

## ・編集後記・

梅雨時の外回りは、とても不快指数が高くてイヤなものです。そんなときには事務局長お勤めのお店でキンキンに冷えた生ビールを飲みながら串焼きなんて如何でしょうか。会員の皆様のお勤めのお店などありましたら事務局までお知らせ頂けませんでしょうか。

## 【お店紹介】

今回は前田事務局長お勤めの鳥元さんの紹介です。

お勤めは、串焼きの盛り合わせ。

協会にお越しの際には是非。

店名 鳥元

住所 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-2-17  
第5サンビルB1

アクセス JR神田駅 徒歩3分

TEL 03-3270-1117 JR神田駅 徒歩3分

(A.S)



## 東地協ニュース 2013.6 第24号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

http://www.tokyo-geo.or.jp/ E-Mail info@tokyo-geo.or.jp